

議会だより

# おおいそ

第193号

2018年（平成30年）11月27日発行



## 9月定例会

平成29年度決算

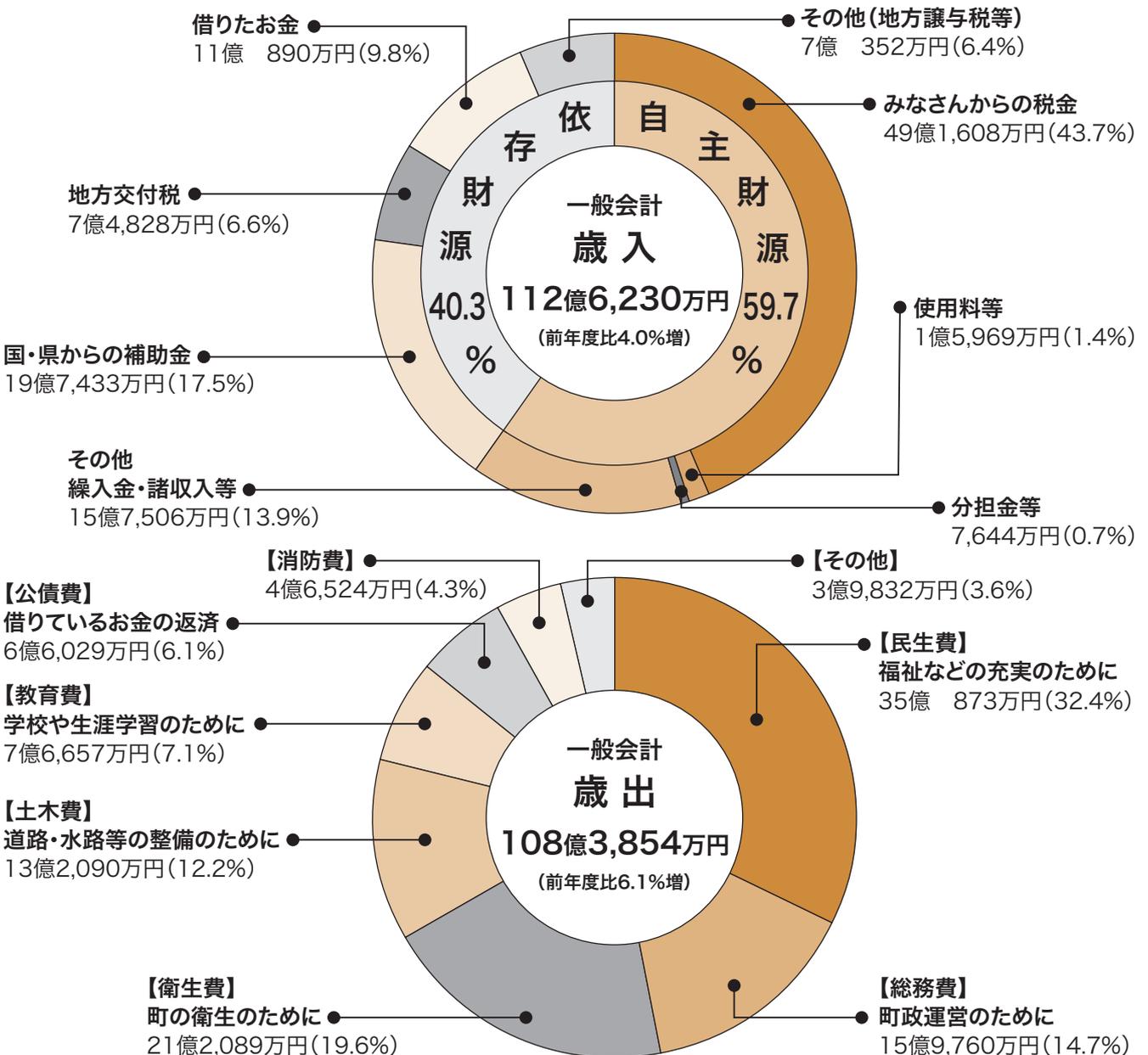
全会計を認定・・・・・・・・ 2

## 輝く笑顔

(関連記事22ページ)

# を賛成多数で認定

9月定例会は9月3日から10月3日までの31日間の会期で開きました。  
 本会議初日は、継続費の精算、財政状況の報告、専決処分の承認、介護保険にかかる条例の一部改正3件、人事案件、平成30年度補正予算の10議案を原案どおり可決しました。  
 初日に提案された学校法人東海大学に対する訴えの提起は、総務建設常任委員会に付託し審査を行いました  
 が、さらに審議する必要があるため、継続審査となりました。  
 また、平成29年度決算は決算特別委員会を設置し、4日間にわたり審査を行った結果、全会計を賛成多数で認定し、最終日の本会議場においても、このとおり決定しました。  
 一般質問では、10人が町長や教育長に行政事務についてたずねました。



※入ったお金から使ったお金を差し引いた額は次年度へ繰越し

# 平成29年度決算 全会計

平成29年度各会計決算

会計別	歳入	前年度比	歳出	前年度比
一般会計	112億 6,230万円	4.0%増	108億 3,854万円	6.1%増
国民健康保険事業特別会計	44億 7,220万円	4.8%減	43億 7,692万円	2.0%減
後期高齢者医療特別会計	9億 5,921万円	6.5%増	9億 3,047万円	10.9%増
介護保険事業特別会計	30億 3,286万円	4.4%増	28億 8,913万円	4.9%増
下水道事業特別会計	17億 1,965万円	0.2%増	16億 5,457万円	0.3%減

※1万円未満は、四捨五入

**町の財政状況は良好**  
町は、健全化判断比率及び資金不足比率について監査委員の審査に付し、結果を議会に報告、公表しなければならない。  
監査委員の審査結果意見書では、いずれの指標においても早期健全化基準を下回り、町財政は良好な状態であるとの結果が出された。

財政指標 平成29年度健全化判断比率及び資金不足比率						
	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率	下水道事業特別会計に係る資金不足比率	
	一般会計の赤字の大きさを示す	町の一般会計と特別会計を合わせた赤字の大きさを示す	その年の借金の返済額の大きさを示す	今後支払わなければならない負債の大きさを示す	事業規模に対する資金不足額の大きさを示す	
大磯町	—	—	5.3%	76.9%	—	
国	財政健全	14.12%	19.12%	25%	350%	20%
	財政再生	20%	30%	35%	—	—

## 監査委員の指摘

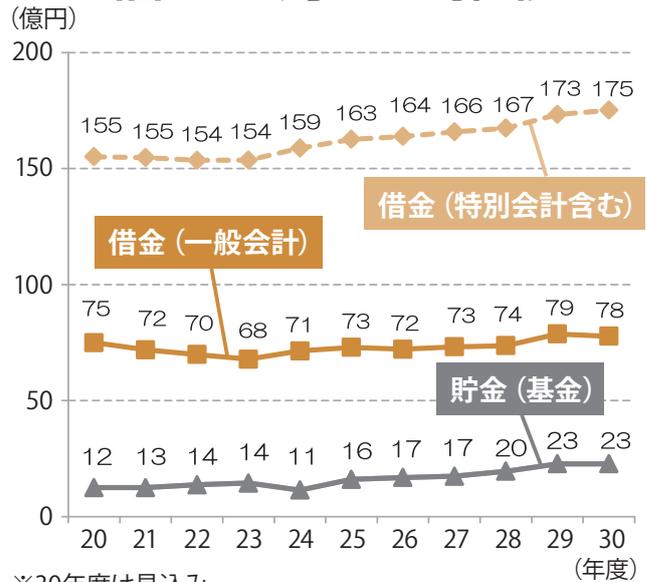
代表監査委員 脇 國廣  
監査委員 奥津 勝子

平成29年度は、「子育て」「教育」「健康」「観光」「防災・減災」「農業」を重点項目とし、事業及び事業が進められた。一般会計と特別会計を合わせた決算額は歳入では1.9%、歳出でも3.8%の増加となった。収支状況は実質収支で赤字であったが、単年度収支では赤字となった。

一般会計は財政力指数が前年とほぼ同じ状態であるのに経常収支比率や実質公債費比率は悪化しており、財政の硬直化が進み厳しい財政運営が続いていることがうかがえる。今後とも財政指標の推移には十分留意されたい。歳入では、町税や使用料、手数料などの負担は公平性が原則であり、積

極的な収納を進め、収入未済額の累積防止に努めていただきたい。  
歳出では、今後も扶助費や医療・介護事業への負担、公債費など義務的経費の増加が見込まれる。町民ニーズに応えるためにも社会情勢の変化に応じた事業の見直しなど柔軟な対応を図っていただきたい。

## 借金と貯金の推移



# 4人が総括質疑

【文責は本人】

## 時間外勤務手当は

鈴木 京子

問 時間外勤務手当は、就業管理システムを活用したか。

町長 活用していない。中途退職者は13名だったが、平成30年度当初の正規の職員数は、町長 平成29年度当初の

項目	内容
1. 対象職員	常勤職員
2. 対象業務	常勤業務
3. 対象時間	常勤勤務時間外
4. 対象業務	常勤業務
5. 対象時間	常勤勤務時間外
6. 対象業務	常勤業務
7. 対象時間	常勤勤務時間外
8. 対象業務	常勤業務
9. 対象時間	常勤勤務時間外
10. 対象業務	常勤業務
11. 対象時間	常勤勤務時間外
12. 対象業務	常勤業務
13. 対象時間	常勤勤務時間外
14. 対象業務	常勤業務
15. 対象時間	常勤勤務時間外
16. 対象業務	常勤業務
17. 対象時間	常勤勤務時間外
18. 対象業務	常勤業務
19. 対象時間	常勤勤務時間外
20. 対象業務	常勤業務
21. 対象時間	常勤勤務時間外
22. 対象業務	常勤業務
23. 対象時間	常勤勤務時間外
24. 対象業務	常勤業務
25. 対象時間	常勤勤務時間外
26. 対象業務	常勤業務
27. 対象時間	常勤勤務時間外
28. 対象業務	常勤業務
29. 対象時間	常勤勤務時間外
30. 対象業務	常勤業務
31. 対象時間	常勤勤務時間外
32. 対象業務	常勤業務
33. 対象時間	常勤勤務時間外
34. 対象業務	常勤業務
35. 対象時間	常勤勤務時間外
36. 対象業務	常勤業務
37. 対象時間	常勤勤務時間外
38. 対象業務	常勤業務
39. 対象時間	常勤勤務時間外
40. 対象業務	常勤業務
41. 対象時間	常勤勤務時間外
42. 対象業務	常勤業務
43. 対象時間	常勤勤務時間外
44. 対象業務	常勤業務
45. 対象時間	常勤勤務時間外
46. 対象業務	常勤業務
47. 対象時間	常勤勤務時間外
48. 対象業務	常勤業務
49. 対象時間	常勤勤務時間外
50. 対象業務	常勤業務

正規職員数は257名、30年度当初は253名で、前年度比較で4名減った。問 メンタル面での療養

休職者数、有給休暇の取得日数、振替休日の取得状況は。

町長 メンタル面による療養休暇は10名が取得、有給休暇の取得平均日数は5.7日、振替休日は規則で取得させている。

## 財政の硬直化 対応は

渡辺 順子

問 財政力指数が前年度とほぼ同じであるにもかかわらず、經常収支比率や実質公債比率が悪化しており厳しい財政運営が続いている。財政健全化の取り組みは。

町長 經常収支比率が前

年度と比較して2.4ポイント増加した。主要因は町税収入の減や、ごみ処理広域化事業償還の開始と下水道事業債の返済額の増である。行政経営プランに基づき歳入の確保と歳出の削減に取り組む。

町長 徴収体制を強化し累積防止を図る。

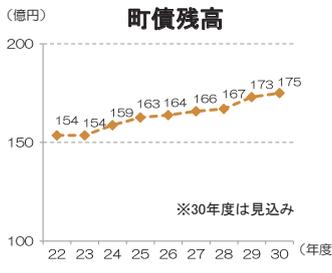
## 町政の責任者の自覚は

柴崎 茂

問 町債残高は町長就任後の平成22年度の152億円から平成29年度末173億3千万円と21億3千万円増えた。その他、敬老会で3500万円、火葬料で1500万円と年5千万円、8年間で4

億円削減したのに、町債は増え、合わせれば25億円も借金を増やしたことになる。人口減少社会を迎える中で、町政運営の責任者として、どのような自覚を持っているか。

町長 次世代のために先行的な投資は行わなければならない。ぶれることなく、一貫性という信念で町政運営にまい進する。



## 農家の営農意欲向上は

吉川 重雄

問 町長が重点項目と掲げた農業について予算額は昨年度より農業振興費は減額された中で行われたが町長が述べてきた農家の利益保護や営農意欲の向上の効果はあったか。

町長 新規就農者への支

援や鳥獣被害対策講習会、電気柵の補助を行った。問 結果としての答弁は全くなく、今農業を行っている人たちは高齢化が進み後継者がいない中でいかに荒廃農地を解消するかが重要な施策である。農業が重点項目なら、きちっとした予算をつけることが大事では。そのことを感じていただきたい。



# 平成29年度 こんな事業が行われました

## 公園トイレ整備事業

### 509万円



池田公園トイレの改修工事を行った。  
工事内容：和便器撤去・洋式便器の新設、手すりの設置、ハンガードアの取り付け、外壁塗装など

## 農業用水路整備事業

### 3,049万円



老朽化した西小磯地区の排水路の改修工事を行った。(平成28年度からの3カ年事業)  
積算参考資料作成業務委託 162万円  
改修工事(延長259m) 2,887万円

## 福祉センター改修事業

### 2,028万円



全階の空調設備の改修工事を行った。  
空調設備改修工事監理委託 86万円  
空調設備改修工事 1,942万円

## 準用河川改修事業(血洗川)

### 3,446万円



治水及び浸水対策のため、延長47mにコンクリート積による護岸整備を行った。

金額は、1万円未満を四捨五入

# 決算 審査

決算特別委員会では、平成29年度予算施政方針に基づき「子育て」「教育」「健康」「観光」に加え「農業」「防災・減災」の6つに重点を置いた執行がなされたかを審査しました。

その結果、一般会計及び4特別会計は賛成多数で認定されました。主な審査内容をご報告いたします。

## 災害対策

**問** 停電時の携帯電話用充電器はあるか。

**答** セキュリティーや規格の問題から町では備え付けていないが、近隣自治体の動向もみて検討する。

## 総合計画

**問** 第四次総合計画の風プロジェクト「交流によるしごとづくり」の評価は甘くないか。あと2年で達成できるか。

**答** 達成できるかは終わってみないとわからないが、地域ビジネスや担い手不足は認識している。担当課と協議し進める。

## 西久保トイレ整備

**問** 測量と設計委託をしたが、その後の整備の進捗状況はどうか。

**答** 工事が1千万円を超え、大磯港賑わい交流施設などを優先し、建設時期を調整している。

## 町税

**問** 税金の確保は最優先に行うべきだが、収入未済額が3100万円増加した理由は。

**答** 徴収体制が整わなかった。徴収困難な案件が多くなっており、差し押さえた額が前年より少なかった。

## 基金

**問** 町民会館建設基金が1億4千万円あるが今後どうするのか。

**答** 塩漬け状態であり、整理を検討したい。

## 時間外手当

**問** 時間外手当は勤務実態に合わせて支給しているか。

**答** 所属長の決裁をもとに支給している。

**問** 本庁舎建設基金3億2700万円と計画は。

**答** 個別施設計画の前期5年間で基礎調査と基本構想まで進めたい。

**問** 所属長の決裁が勤務実態に合っているか。

**答** エックはしているが原則、管理職が命じたものは翌日確認している。

**問** 部長は勤務実態のチェックをしているか。

**答** していない。

**問** 災害備蓄品の一覧表はできているか。自主防災の方にもわかるようになっていているか。

**答** 防災備蓄倉庫ごとに台帳を作成しており、倉庫の扉の内側に張っている。ホームページには主な備蓄品の一覧表を掲載している。

**問** 町に見合った産業を創れば、雇用も生まれる。試行錯誤で進める。

## 消防

**問** 消防指令センター共同整備事業の効果はどのようであったか。

**答** 平塚市・大磯町・二宮町で通信指令室が集約されたことで救急出动時の応援体制が向上した。整備面での財政的效果も大きかった。

**問** 観光客のために必要だったのではないかと感じる。事業執行がなければ測量と設計委託費は無駄使いとなる。

**答** 整備予算を確保したい。

**問** 滞納繰越分の徴収状況も11・3%と前年度までの半分になっている。近隣自治体と比べてどのような状況だったか。

**答** 県内14町村の中で最下位だった。税の公平性を保つために早急に徴収体制を整えたい。



築47年が経過した役場本庁舎



災害備蓄品が並ぶ倉庫



現在は仮設トイレが設置されている

## 池田公園トイレ改修

問 入札と契約金額は。

答 入札は2回とも不調だったため、2回目の

入札業者で予定価格に一番近い業者と453万6千円で不随契した。その後、変更契約を行い508万6800円になった。

問 変更契約の理由は。

答 図面と異なる配管が見つかるなど17の修正があり工事費が増えた。

問 公園内の低い場所に

建っているが、設計で大雨の場合を考えたか。

答 今回はリフォーム工事である。また、過去に浸水したことはない。



改修後の池田公園トイレ

## ごみ処理

問 生ごみとプラごみの

減量状況は。

答 ここ3年間横ばい、または減少しており人口減や町民の取り組みの成果と認識している。

問 コンポスターの普及

状況は。

答 総計で2418基、人口割で約7.7%の普及率である。

問 一人当たりのごみ排

出量はどうか。

答 平成29年度分は調整中だが、平成28年度は959g。10年前は1076gだった。

## 観光

問 ロングビーチの来場

者を除く観光客年間75万人の経済効果は。

答 把握していない。

問 海水浴客数は。

答 平成29年度は6万1880名で、悪天候のため平成28年度より2万2070名減となった。

## 農地

問 遊休農地対策は。

答 自分で耕作できない場合に中間管理機構に登録することで農家や企業にあっせんでき、新たに1件あっせんした。

問 町独自の果物や野菜

をつくるなど、農業を

活性化させる考えは。

答 若い世代の方と話し合って進めていきたい。

## 防災

問 耐震改修の実績は。

答 耐震診断は9件、補強設計が5件、工事監理が4件、補強工事が4件だった。

問 診断しても工事まで

進まない場合が多いが何か工夫はしたか。

答 戸別のチラシ配布、広報への掲載のほか、総合防災訓練で町と協定を結んでいる建築士事務所協会による無料相談でアドバイスをを行った。

## 子育て

問 教育や保育の新たな

ニーズにどう応えたか。子どもたちにとつての幸せな環境づくりに町独自の考えやプランはあるか。

答 町立幼稚園を私立の

認定こども園として移管し、環境整備、施設整備に取り組んだ。教育の町として保護者のニーズを的確にとらえ、待機児童対策も取り組んでいく。

問 待機児童対策として

保育が必要な在宅勤務の転入者が働き続けられるような入所条件はどうだったか。

答 入所決定に不公平が生じないように、平成29年度に「保育の利用調整の基準に関する要綱」を定めた。就労状況に合わせて細かく点数設定を行っており、就労状況に対応した入所決定ができたと考える。



認定こども園サンキッズ国府

## 保育料など

問 保育園負担金や幼稚

園保育料の徴収時の留意点や徴収率はどうか。

答 次年度に繰り越さないことや過年度分は時効消滅を迎える前に納付してもらうよう、強い認識で取り組んだ。児童手当からの充当や分納計画も行い、現年度分の徴収率は保育園負担金が99%、幼稚園が100%となった。

## 病後児保育

問 病後児保育の利用状

況はどうだったか。

答 登録児童数は54名、利用児童数は延べ29名だった。病後に預ける場所があるという安心感があるようだ。

## つどいの広場

問 東部つどいの広場の

利用状況はどうか。

答 生涯学習館、保健センター、高麗区民会館、東町福祉館で201日開催し、合計4011人が参加した。子育てに関する情報交換を行い有効に利用された。



生涯学習館でのつどいの広場

健康

問 「おあしす24健康お

おいぞ」は開始から7年経過したが効果は出ているか。大磯町は後期高齢者医療費が県内町村で3番目に高いが。

答 高齢化率や高額医療費の伸びなどで、おあしす事業の目的である医療費の抑制効果は数字では示せていない。7年で1365回開催し、延べ2万3328人の参加があり、健康に対する意識や健康づくりに取り組む姿勢が向上したと考える。

問 40歳から75歳未満が対象の特定健診受診率が低い。改善に向けた取り組みは。

答 施設健診と集団健診の機会を増やすため、平成30年度から受診期間を延長した。受診していない方へ電話による個別の受診勧奨を行う一定の効果があった。



スクワットで筋肉を鍛える

防犯

問 防犯カメラの設置は。

答 黒岩・虫窪・西久保地区から子どもの連れ去り防止のため要望があり、小田原厚木道路大磯インター交差点に設置した。犯罪防止、交通事故対策に努めた。

学校施設

問 大磯中学校大規模改修は中学校給食の実施

に対応できる設計か。

答 老朽化している校舎全体の改修設計であるが、給食方式選考に影響がないようにする。

大磯小音楽室の空調

問 音楽室、音楽ホール、音楽準備室の空調は改修に向けた設計を行ったが、設置はいつか。

答 来年の夏休みに全小中学校へ空調設備借り上げでの導入に向け事務を進めており、あわせて行いたいと考えている。

問 改修設計の結果は小中学校空調設備の全体計画に生かされるか。

答 早急に必要状況であるため先に設計を行ったが、効率的に工事を進めていきたい。



音楽室

中学校給食

問 業務委託違約金に係る食数の計算方法は。

答 平成29年10月13日時点で給食を今後も希望する生徒数328人をもとに320人とした。契約解除の翌日である平成29年10月16日から平成29年度末までの給食提供日数74日と平成30年度分の160日を足し、320人分を掛け7万4880食とした。

問 違約金はいくらか。

答 7万4880食に1食の契約単価257.04円を掛け、10%分の192万4715円を違約金と算出した。

部活動

問 地域指導者派遣の要望に応えられたか。

答 要望全てに応じ12名を派遣したが、指導歴や競技経験の有無など実際の運営に課題はある。

旧吉田茂邸

問 決断の聖地に特化したイベントは行われたか。

答 大学生を対象に「就職活動支援セミナー」を2回、ビジネススマンを対象に講演会を1回行った。講師は大磯町旧吉田邸担当参与が務めた。また、サラリーマンからダンサーに転職した方を講師に招き決断講演会とフラメンコのショーも行った。参加者にも満足していただけたと考えている。

教育研究所

問 時代のニーズに的確に対応しているか。

答 平成29年度から子ども不登校に関する教育相談としてスクールソーシャルワーカーを配置し様々な問題に対応した。また、教員の研修・研究や、県内の情報収集の場として非常に大切な施設である。



イベントを行った研修室

決算特別委員会

委員長 吉川 重雄  
副委員長 高橋 英俊

三澤 龍夫  
片野 哲生  
二宮加寿子  
鈴木 京子  
渡辺 順子  
柴崎 茂

# 決算特別委員会での討論

## 全会計に反対

【鈴木京子委員】

中学校給食は町民に多大な迷惑をかけた。町民感覚の欠如はみなどオアシスや駅前整備計画に共通し、収入が低い方に目が向いていない。時間外勤務手当の支給額の残りは無駄使いの原資になる。相模川流域下水道建設費担金は無駄な部分がある。

【柴崎 茂委員】

中学校給食は一体誰のために始めたのかと思わざるを得ない。人口が減少するの箱物の政策ばかりで、今後この町は耐えられない。子育ても給食も満足にできない、火葬料も十分に出不せない町に一体誰が住むか。

## 一般会計に反対

【渡辺順子委員】

高齢化などにより義務的経費が増える中、町民ニーズに十分応えられたか疑問。住民参加で町の方針を決めるのが本筋だが、みなどオアシスや駅前の整備では住民の声が置き去りである。中学校給食も生徒、保護者の声に心えられていない。

## 全会計に賛成

【三澤龍夫委員】

町民は町を信頼している。職員は町民の立場に立ち、町と町民の信頼関係を損なわないよう緊張感を持ち、日々新たに仕事に励んでいた。さまざまな問題やうまくいかない部分はあるが、町民や町のためと認識している。

【二宮加寿子委員】

人生100年時代と言われ、地域包括ケアシステムの構築が重要である。子育てでもさまざまな課題はあるが、必要な情報、支援が届くよう行政運営を望む。旧吉田茂邸は関連事業など今後の発展が町の誇りとなるよう望む。

【高橋英俊委員】

大磯町行政経営プランの中でも第四次総合計画の後期基本計画の計画期間中の財源不足が見込まれ、財源確保は喫緊の最重要課題である。決算特別委員会でのさまざまな意見や指摘事項を新年度予算に生かしてほしい。

# 本会議での討論

## 全会計に反対

【鈴木京子議員】

平成29年度のメンタル休職者は10人、中途退職者は13人と多い。大磯町で学び、将来の幹部となるべき人材が流出してしまつては組織の力量が衰退すること容認することになりかねない。危機感の欠如で起きた中学校給食を教訓にすべき。

## 一般会計に反対

【玉虫志保実議員】

おおいそ福祉会との裁判や中学校給食中止にかかる事務で弁護士謝金は平成28年度より増加した。事業を慎重に進めていればこのような事務や謝金は発生しない。必要ない裁判にお金を使うのではなく、児童のために使うほうが有効である。

## 全会計に賛成

【清田文雄議員】

翌年度への繰越額は前年に比べ減少し、計画的に事業が行われた。重点項目に掲げた「子育て」「教育」「健康」「観光」「防災・減災」「農業」の取り組みや事業は一定の評価ができる結果であった。4特別会計でも適切に執行されたと判断した。

【柴崎 茂議員】

大磯町に住んでも経費がかかるだけで、最終的に住民の負担にするような行政をこのままやられるのは極めて不穏当である。

【渡辺順子議員】

観光で交流・定住人口を増やしたいようだが、町内の雇用創出や待機児童対策は十分でない。地域経済の振興となる商工業政策の予算はわずかで目に見える効果はない。大磯小学校音楽室のエアコン、西久保休憩所の整備も先送り不安が残る。

【高橋英俊議員】

滞納繰越分の徴収率や不随契などに懸念もあったが、子どもを育てやすい環境づくりには評価をする。また、快適に移動できる交通基盤の推進も図られた。歳入確保、歳出削減の取り組みなど、全体の方針を踏まえ、新年度予算に期待する。

決算審査

議案審議

補正予算

審議結果・陳情

一般質問

議会活動

# 介護保険制度の見直し 条例の一部改正

議案第49号・第50号・第51号の審査結果をまとめてお伝えします。

## 国の基準等の主な改正内容と町の条例

介護認定の種類	事業所	国の基準の主な改正内容	議案
要介護	サービス提供 (地域密着型)	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護小規模多機能型居宅介護事業所の申請の要件について、新たに規定(病床を有する診療所を開設する者であれば、法人でなくても指定の申請ができる)</li> <li>定期巡回・随時対応型訪問介護看護及び夜間対応型訪問介護の訪問介護員の資格要件を新たに規定(介護福祉士または介護職員初任者研修課程を修了していることが必要)</li> <li>引用条項の整理</li> </ul>	第49号
要支援	サービス提供 (地域密着型)	<ul style="list-style-type: none"> <li>引用条項の整理</li> </ul>	第50号
—	地域包括支援 支援センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>主任介護支援専門員の資格について、新たに規定(5年ごとの更新研修を修了しなければならない)</li> </ul>	第51号

地域包括ケアシステム強化のための介護保険法等の一部改正により、介護保険法施行規則及び国の基準が改正されたため、町の3つの条例について改正するものです。

決算審査

議案審議

補正予算

審議結果・陳情

一般質問

議会活動

**問** 看護小規模多機能型居宅介護事業所に限り、指定の申請が法人でなくとも病床を有する診療所を開設している者であれば個人でも申請できるように規制緩和されたと解釈したが、背景は。

**答** 看護という医療的ケア、医療的なニーズの高いサービスは、以前より在宅での要介護者等から望む声はあったが、参入してくる事業所が少ない中で、国がハードルを下げ、個人の医者、診療所を開設しているドクターと介護事業所がタッグを組む、医療的サポートができるよう充実を図るのが狙いである。

**問** 第七期大磯町高齢者福祉計画・介護保険事業計画で看護小規模多機能型居宅介護事業者を募集する予定はあるか。

**答** 現段階で募集の予定はないが、いろいろな形でニーズは高まっているため、第八期以降は必要になってくると考えている。

**問** 第七期の計画で、定期巡回・随時対応型訪問介護看護の事業所を公募するとあったが、進捗状況は。

**答** 8月31日まで公募を受け付けていたが、今回は応募がなかった。必要なサービスであるので、第七期の計画期間である平成32年までに事業者に参加してもらえよう、再度公募をかけた。

## 大磯町の地域密着型サービス事業(要介護) ※議案第49号

サービス種別	対象者	事業所
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	要介護1~5 (一部要支援)	なし
夜間対応型訪問介護		なし
認知症対応型通所介護		1
認知症対応型共同生活介護		3
小規模多機能型居宅介護		1
看護小規模多機能型居宅介護		なし
地域密着型特定施設入居者生活介護		なし
地域密着型通所介護		5
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護		要介護3~5

## 専決処分の承認

損害賠償の額を定めることを専決処分により行ったことについて、議会の同意を得るものです。

**発生日時** 平成30年5月13日9時55分頃  
**事故内容** 消防団員が運転する消防自動車東の池付近の県道相模原大磯線沿いに設置してある道路標識に接触し、ポールを曲げた。  
**賠償金額** 14万3748円

## 人事案件

固定資産評価審査委員会委員

菅原 康治氏

任期は10月1日から3年間  
(42歳・大磯)

# 東海大学に対する訴えの提起

## 常任委員会で継続審査へ

平成20年3月31日付けで町と学校法人東海大学が締結した土地売買契約が期限までに履行されなかったため、町が学校法人東海大学に違約金の支払いを求める「訴えの提起について」の議案が提案されました。

本会議初日に審議しましたが、病院の存続や契約内容についての質疑が多くあり、総務建設常任委員会に付託して審議を深めることになりました。

9月6日の常任委員会では、さらに閉会中に継続して審議することになりました。

### 土地売却までの経過

平成16年9月

東海大学大磯病院から病院増築計画に伴う「町有地使用許可願いに関する要望」が提出される。

平成18年6月

東海大学から病院の建替えと高度診断センター整備計画のため、ゲートボール場と月京幼稚園敷地の提供を求める「大磯町有地提供協力に関する要望書」が提出される。

平成18年11月

土地譲渡の覚書締結

平成19年3月

土地譲渡の協定書締結

平成20年3月

土地売買契約締結

平成22年3月

土地売買契約締結

(2回目)

### 土地売却後の経過

10年以内に契約を履行できない場合は町に違約金を支払うという特約条

項付契約であり、平成28年7月に確認したところ「学園全体のマスタープランが進行中であり、また熊本地震の影響等から契約期間を延長したい」との意向が示された。

しかし、その後の大学内での協議で「違約金を支払い、町に土地を買戻してほしい」「病院の建て替えは当面困難」との考えも示された。町は、土地は買い戻さず、違約金を請求する旨を伝えたところ、契約書の解釈の違いから「大学に違約金を支払う義務はない」との疑義が示され、違約金は支払われなかった。

問 訴えによって東海大学との関係悪化や町民への影響を心配するが、

答 大学からは、「町民の不安とならないよう病院を維持していくことが大学の社会的責任である」と聞いている。

問 町長は学長と大磯病院の存続や将来的展望について話をしたか。

答 まずは2つの契約書について整理していることとなっている。現時点で大磯病院の将来構想を策定することは困難と聞いている。

問 2つの契約のうち1つはまだ期限が残っている。粘り強く話し合いを続けてはどうか。

答 大学からは、残りの期間内に具体的な整備計画を示すことは困難

との意向が示された。契約書に基づいた対応をせざるを得ない。

問 町長が病院長時代に立てた計画は、大学との連携は取れていたか。このような状況になると、契約時にしっかりと整備計画について確認したか疑問だが。

答 病院長として病院存続の思いを大学に伝え、10年前に経済情勢や医療を取り巻く環境が変わることは双方とも想定できなかったと感じている。

問 契約締結後、具体的な計画は示されたか。

答 整備スケジュールは一度も示されていない。

問 土地を買戻してほしいということは今使っている土地は必要なのか。

答 そう思われる。

問 15年経ったら土地を売却できる契約か。

答 10年以内に指定用途に供し、その後5年間は運営をする。その後は売ってしまうことも可能である。



町が売却した土地(月京幼稚園跡地)

# 補正予算を可決

一般会計補正予算は、歳入歳出予算の総額に3億1,718万5,000円を追加し、予算の総額は96億677万3,000円となりました。

審議では、さまざまな事業に対する質疑が、活潑に行われました。

## ブロック塀の改修に1億836万円

6月に発生した大阪北部地震により小学校の塀が倒壊し、女児が死亡した事故を受け、町及び学校施設の点検を行い、6施設10力所で傾きや倒壊の危険性があった。

このうち、緊急性の高い本庁舎・大磯中学校・大磯小学校・大磯幼稚園のブロック塀の改修を行うため、1億836万円を追加する。



**本庁舎** 485万円

**改修内容**

敷地内約50mのブロック塀が新耐震基準の前に設置された可能性のあることから、解体、撤去し、40mに新たな基礎と目隠しフェンスを設置するほか、フェンス扉を1ヶ所新設する。

**問** 工事はいつ頃を予定しているか。また、通路の安全対策は。

**答** 11月までには工事発注し、年内には着手して、早急に対応したい。

工事途中の安全対策については、歩道の一時通行止めや通行路の確保などを行っていく。

**大磯小学校** 103万円

**改修内容**

学校菜園東側と南側のブロック塀の改修を行うもので、東側の延長10m、高さ1m50cmのブロック塀は補強工事を行う。南側の延長19m、高さ1m65cmのブロック塀は、7段のうち下2段を残し、その上に目隠しフェンスを設置する。



**大磯幼稚園** 158万円

**改修内容**

園庭西側にある延長42mのブロック塀が、設置から37年経過していることから改修を行うもので、8段のうち下3段を残し、その上に目隠しフェンスを設置する。



# 旧吉田茂邸

## 整備活性化等基金へ積み立て

平成29年度の旧吉田茂邸の入館者数が見込みより大きく増となったことに伴い、旧吉田茂邸整備活性化基金へ840万円を積み立てる。

平成29年度の旧吉田茂邸の入館者数が見込みより大きく増となったことに伴い、旧吉田茂邸整備活性化基金へ840万円を積み立てる。

**問** なぜ840万円か。

**答** 平成29年度の当初予算で1520万円の入館料を見込んでいたが、決算で4723万円の見込みとなった。昨年、補正予算で基金に2200万円を積み立てているが、旧吉田茂邸関連事業歳出との差額分をさらに基金へ積み立てたい。

### 平成30年度一般会計補正予算の主な内容

歳入	
西小磯地区排水路改修工事補助金	546万円
歳出	
西小磯地区排水路改修工事	1,159万円
本庁舎工事費	485万円
小学校修繕費	103万円
中学校修繕費	1,090万円
幼稚園工事費	158万円
旧吉田茂邸整備活性化等基金への積立金	840万円

### 平成30年度各会計補正予算

会計別	歳入歳出予算
一般会計	96億 677万円 (3億1,719万円を追加)
国民健康保険事業特別会計	38億3,228万円 (9,528万円を追加)
後期高齢者医療特別会計	9億9,974万円 (2,874万円を追加)
介護保険事業特別会計	32億4,569万円 (1億4,369万円を追加)
下水道事業特別会計	20億 847万円 (2,147万円を追加)

金額は、1万円未満を四捨五入

# 大磯中学校

## 1090万円



### 改修内容

正門西側の国道1号沿いと校舎東側のブロック塀の改修を行うもので、国道1号沿いは傾きや控え壁の不足が確認されたため、延長約50mのブロック塀を撤去し、生け垣を新設する。東側は石垣の上に設置されている延長30mのブロック塀にひ

び割れが確認されたため一部を撤去する。

**問** 改修費がほかに比べ特に高いのはなぜか。

**答** 木の根が張り抜根が必要なことや、延長が50mと長いため、このような金額になる。

## 継続費

### 3カ年の事業が終了

(仮称) リサイクルセンター整備事業

・設計監理委託料

支出額 2,301万4,800円

(株) 建設技術研究所 横浜事務所

・工事請負費

支出額 17億6,040万円

新明和工業(株) 流体事業部営業本部

# 議案に対する各議員の賛否結果一覧表

議案番号	議案	議員名（議席順）											結果	掲載ページ番号			
		竹内恵美子	清田文雄	吉川重雄	三澤龍夫	片野哲生	高橋英俊	奥津勝子	二宮加寿子	玉虫志保実	鈴木京子	渡辺順子			柴崎茂	関威國	
48	専決処分の承認を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—	可決	10	
49	大磯町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—	可決		
50	大磯町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—	可決		
51	大磯町地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—	可決		
52	訴えの提起について	閉会中の継続審査												11			
53	固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—	可決	10
54	平成30年度大磯町一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—	可決	12 13	
55	平成30年度大磯町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—		可決
56	平成30年度大磯町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—		可決
57	平成30年度大磯町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—		可決
58	平成30年度大磯町下水道事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—	可決	2 9
59	平成29年度大磯町一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	認定	
60	平成29年度大磯町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	認定	
61	平成29年度大磯町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	認定	
62	平成29年度大磯町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	認定	
63	平成29年度大磯町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	認定	

○は賛成 ●は反対 —は議長が賛否に加わっていない

## みなさんの陳情はこうなりました

番号	件名	提出者	要旨	付託委員会	委員会の意見・結果
第4号	「所得税法第56条を見直すことを求める意見書」を国に提出することについての陳情	平塚民商婦人部 部長 高瀬 初江	国に対し、税の公平性を考慮し、所得税法第56条を見直し、家族従業者の自家労賃を必要経費として認めるよう意見書の提出を求めるもの。	総務建設	所得税法第57条により、青色申告をすることで、家族、従業員に支払う給料は必要経費となる。青色申告と白色申告を選択できるため、矛盾のない制度である。  不採択 (採択1、不採択4)

誰でも陳情書や請願（議員の紹介が必要）を議会に提出することができます。詳しくは議会事務局にお問合せください。  
61-4100（内線281）※提出の締め切り（12月定例会分）12月7日（金）午後5時まで

# 町政のここが聞きたい

## 一般質問

一般質問は、9月13日・14日に10人の議員から19問ありました。

質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

詳細は会議録・ホームページ・DVD（図書館貸出）をご利用ください。

【文責は本人】

### ブロック塀 撤去・改修への補助は 対応を検討していく



清田文雄

**問** 町・学校施設のブロック塀の点検と対策は行ったが、民間所有の法に適さないブロック塀は数多くあるようだ。撤去・改修等に補助金を出している自治体があるが、把握しているか。

**答** 県内33自治体のうち、17自治体が補助制度を設けており、ほとんどの自治体が補助率2分の1、10万円から30万円を限度とし補助している。

**問** 今回の地震を受け、見直す自治体が多いと聞くが、町の考えは。

**答** 大阪北部地震後、いくつかの自治体は新たな補助制度の創設や既存制

**問** 度の見直しを行っているとも聞く。町にも何件か相談があり、北海道胆振東部地震が発生したことから相談はさらに増える可能性があると考えている。他市町の状況等も見ながら対応を検討したい。

**問** 補助金は、国の「防災・安全交付金」も活用でき、政府も大阪北部地震を受け、塀の撤去費などを支援する検討を始めたとのことだが。

**答** 既存の生垣設置奨励補助金や狭あい道路整備事業の物件補償費もある。今後は既存制度との組み合わせや国交付金の活用なども研究し検討したい。



対策が必要と思われる塀



柴崎 茂

# 損害額算定で 320食としたのは

## 選択制にしたため

**問** 平成28年1月12日から同29年10月13日まで中学校給食にいくら支出し延べ何食発注したか。

**町長** 公費として支出した調理配送委託料は合計22万5914食で約5807万円。保護者が負担した私費会計の食材費は合計で約6988万円である。1食当たりの町の支出額は委託契約単価の257・04円で、保護者負担の食材費は1食当たり約309円である。

**問** 結局、契約解除の違約金は192万円になった。その根拠となる損害1920万円の計算式は、

**答** 損害額の算出根拠は、給食を停止してから残りの契約期間が234日で、1日当たりの提供数が320食、これに257・04円の契約単価を掛けると1924万7155円。これが残りの未執行額と想定した数字だ。

**問** 契約単価257・04円も問題だが320食というのもすごい問題だ。違約金が決定して契約解除が整ったとした4月11日の福祉文教常任委員会でも1日320食で計算したとは何も触れてない。誰が320食と言ったか。

**答** 契約は1日800食だが、町が選択制にしたため320食で算定した。

**問** 平成28年1月12日から同29年10月13日まで中学校給食にいくら支出し延べ何食発注したか。

**町長** 公費として支出した調理配送委託料は合計22万5914食で約5807万円。保護者が負担した私費会計の食材費は合計で約6988万円である。1食当たりの町の支出額は委託契約単価の257・04円で、保護者負担の食材費は1食当たり約309円である。

4. 給食の対象者	対象学校の生徒及び教職員 対象者数は、対象中学校に在籍する次の者とする。 生徒 約800人 教職員 約70人
5. 給食の実施方法	原則、全員給食で、ランチボックス給食（デリバリー給食）を実施する。
6. 給食の実施日	給食実施日は契約履行期間内、土曜、日曜及び国民の祝日並びに長期休業日を除いた、年間160日程度を原則とする。ただし、平成27年度（平成28年1月1日から3月31日まで）は30日から40日とする。給食実施日は、委託者が受託者に提示するものとする。
7. 委託食数	委託食数は、870食を原則とする。状況により変更する場合は、給食実施日の7日（土曜、日曜及び国民の祝日を含む。）に受託者に連絡するものとする。 なお、当該食数には、予備食、おかわり用主食、調理施設での備食及び保存食等の数を含まないものとする。

仕様書は800食ではなく870食

# 給食調査に税金投入は 焦りからか

## 失敗に懲りた中で運び



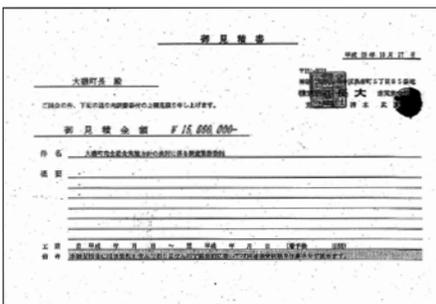
吉川重雄

**問** 平塚市の中学校給食がセンター方式で決定したと報道があり、9月11日に平塚市長に面会し話を聞いた。市長も政治公約としており、2年前に小・中学校長、PTA、食生活改善推進団体の代表、教育部長2人、栄養士、企画政策課長など14名で組織する給食検討委員会をつくり、どのような方式がよいかを、検討され、センター方式を決定した。予算は計上せず2回視察に行った交通費のみ支給しており、市長に本当に交通費のみで終わったのか確認すると、当然でしょうと話された。

**町長** 金銭的な検討のお金はかけたが、できるだけ早くにやりたい、そういう強い思いがあった。1回目の大きな失敗に懲りた中で今回このような運びとなったものである。

**町長** 金銭的な検討のお金はかけたが、できるだけ早くにやりたい、そういう強い思いがあった。1回目の大きな失敗に懲りた中で今回このような運びとなったものである。

**町長** 金銭的な検討のお金はかけたが、できるだけ早くにやりたい、そういう強い思いがあった。1回目の大きな失敗に懲りた中で今回このような運びとなったものである。



調査業務委託の見積書

# 町のユニバーサルデザインは 施設整備に取り入れる



三澤龍夫

**問** 各地でユニバーサルデザインの取り組みが行われているが、町の取り組みはどういうものか。

**町長** 年齢や性別、障がいのあるなし、または国籍、民族などにかかわらず、誰もがひとしく利用しやすいように、安全で便利な都市や建物、製品や、また道具などを実現するという考え方である。障がいのある人や高齢者に配慮するバリアフリーと混同されている方もあるかもしれないが、その範疇にはあるうかと思う。ユニバーサルデザインに関しては、全国的にも新たに施設を整備す

る際には配慮している自治体もあり、町においても、その考えに沿って進めていく。

**問** これからつくる施設は、ユニバーサルデザインが当たり前の時代になつてくるが、既存の施設、これをどういうふうに変更していくかも試されていくのではないかと考える。町のこれからのユニバーサルデザインを考えていく中心となる立場が必要ではないか。

**答** 現状では、各課で取り組みが充分進められていると考えている。



決算審査

議案審議

補正予算

# 防災情報の 新たな発信方法は 携帯電話の電波を検討



二宮加寿子

**問** 浸水の深さや避難所情報を身近な生活空間で提供することで防災意識の向上を図る、まるとまちごとハザードマップの県内の取り組み状況は。

**答** 横浜市の1地域で実施されている。

**問** 町も進めることができると思うが、同様の取り組みは行っているか。

**答** 122カ所の電柱へ海拔看板の設置や田中架道橋に浸水深サインを設置している。

**問** 防災情報の新たな発信方法は。

**答** 携帯電話の電波を用いることが有効とわかった。調査検討を進めたい。

**問** 小児がんの早期発見

**問** 網膜芽細胞腫という目のがんは、白色瞳孔や斜視の症状が現れるとあるが、これを乳幼児健診でチェックできれば早期発見につなげることができると考える。乳幼児健診の問診アンケート項目に「白色瞳孔」を追加することはできるか。

**答** 現在は、目つきや動きで気になるところを確認するアンケートになっている。小児科の先生、眼科の先生と相談の上、今後検討していく。

○地域包括ケア体制  
その他の質問

海拔表示板



西小磯田中架道橋



車両の水没等の注意喚起

審議結果・陳情

一般質問

議会活動

# パークアンドライド も考えては

## 利点もあるが難しい



玉虫志保実

**問** 駅前広場の混雑を解消するための協議を、駅前広場利用の交通事業者と行ってきたか。

**町長** 大磯駅周辺安全安心・にぎわい創出計画の検討会議には、JR、バス、タクシー事業者の代表の方も出席している。

**問** 平成29年10月の交通量調査後にドラッグストアが開店し、ロータリーに入る車両の数が増加し、流れも変化した。夕方の混雑時に学校法人のマイクロバスへ乗車する学生の様子は安全と言えない。駅周辺で安全の確保ができる、役場の駐車場や、

神明町公園の辺りに乗降場所を設けるなど、駅周辺の広い範囲で考えることも必要では。

**答** 今後、駅前広場整備では利用者の把握、利用者との調整、十分な検証検討をしていきたい。

**問** 自転車、車等で最寄りのバス停や送迎しやすいバス停へ行きバスに乗り換える方法でも駅前広場の車は減らせるのでは。

**答** パークアンドライドと言い、新しいシステムとして検討は必要と考えるが、駐輪スペース等の確保が必要になることから難しい。先進事例を調査し検討したい。



神明町公園

# 学校施設に 災害時の電源確保を

## 情報収集し検討したい



渡辺順子

**問** 町では平成24年から公共施設の電力調達を入札で決めているが、施設の設置目的に合わせた調達も必要ではないか。

**答** 災害時の避難場所となる学校施設では電源確保が重要であり、また来年から教室にエアコンが設置されると電気使用量が増えてくる。教育委員会は学校施設の電力調達をどのように考えるか。

**教育長** 入札は続けていくが、地球環境に配慮し、児童の健康管理に努める。

**問** 災害時に使える非常用電源や自家発電装置を備えている学校はあるか。

**答** そのような対応はと

っていない。

**問** 電力会社によっては、学校の屋根に太陽光パネルを無償で設置し、通常は売電するが災害時には発電した電気を避難所で使えたり、市民がその電力会社から電気を買うと、母校に応援金を支払ったりしている。

**答** 避難所の電源確保、初期投資ゼロ、安全な電気の供給、屋根貸収入など多様なメリットがある電力調達を考えてはどうか。

**問** 設置方法など、情報収集をして検討したい。

**答** その他の質問

○副町長の自治基本条例に対する見解は

電気代で母校を応援しよう！



学校への太陽光無償設置プロジェクト



学校応援システム

# 利用者の声に対する 対応は

## 運用の見直しを検討中



竹内恵美子

**問** 町営自転車等駐車場の現在の利用状況は。

**町長** 地下1階から最上階屋上の4層の構造で地下1階と地上1階はバイク置き場、2階と屋上は自転車置き場である。通勤・通学で駅を利用する方を中心に、町内外の学生から高齢者の方など幅広い世代の方が利用している。

**問** 費用対効果は。

**町長** 定期利用が約千台、一時利用が平均200台で稼働率は90%である。平成29年度は使用料3千万円の収入に対し、運営事業費1800万円の支出で約1200万円収入

が上回り、一般財源に充てている。

**問** 建設費は。

**答** およそ5億円かかり、国の補助と町の負担で半分ずつである。

**問** 利用者からの声は。

**答** 電動アシスト機能付自転車で行くのが大変、高齢者が荷物を持つて階段を上るのは大変など全体的な運用方法の見直しを求める声がある。

**問** 対応策は。

**答** 1階のバイク置き場に余裕があり、一部を自転車置き場に活用できないか検討している。動線や利用者を整理する必要がある、慎重に検証する。



町営自転車等駐車場

# 防災へのインフラ整備 を伺う

## 災害に強い町づくりを



奥津勝子

**問** 道路空洞化調査の進捗状況は。

**町長** 平成29年度に緊急車両輸送路に指定している13路線の町道を路面下空洞探査車という特殊な車両を用い、地中約1.5mまでの深さを調査した。レーダー反射信号から得たデータを分析し空洞の可能性がある箇所を特定する。緊急対応が必要とされた箇所はないが、4路線29カ所でレーダー

**町長** 高麗3丁目が供用開始から25年経過している。現時点で老朽化が危惧される状況ではないが、道路陥没などの未然防止対策を進めていく必要がある、主要な汚水幹線管路の劣化・損傷を把握す

るため、点検・調査の計画や修繕・改築の判断基準の方針を今年度末に策定する公共下水道事業計画で定める。

**問** 空き家対策は。

**町長** 今年度空き家マップピンクづくりに着手した。空き家の実態把握と、地域づくりや防災の観点から、皆さんと考えるきっかけとしていきたい。

**問** 下水道への対策は。

確保に努める。



路面下空洞探査車



鈴木京子

# 望ましい自校方式が検討されるか

## コストも考え検討する

**問** 自校方式が望ましいという共通認識がある。

あくまでも自校方式が可能か検討すべきだが、現在1千万円以上かけている調査では、難しい答えが出る調査内容と考える。

**情報公開で得たセンター方式の候補地の業者の問い合わせ部分の答が黒塗りだった。食数の上乘せ分は、民間活用の可能性を広げるためとある。**

この流れはおかしい。黒塗りは秘密主義で胸襟を開いて議論しようというようには思えない。

**これから開かれる検討会の委員に何を望むのか。自校方式が望ましいか。**

と答弁を重ねているが、予算の関係、将来のコストなど、材料を示し考えていただく。

**問** お金の問題で、特にPTA会長に答を出してもらうのは酷と考える。

誰が町の20年、30年後を考えられるか。

大磯中には2階建てにすれば国府中分も作るスペースがある。川崎市で同様の施設を短期間で建てた例がある。

町民参加の観点から、町長がPTA会長だとして、代表として検討会でどう意見を言うか。  
**町長** 意味が理解できない。



情報公開で得た資料

## 平成30年5月議会報告会

# 意見に対する町からの回答

### 駅前整備計画

**問** 駅前再整備の理由と目的がわからない。A案、C案とも観光客に対する考え方。町民の利便性を考えてほしい。

**答** 町民や駅利用者に行ったアンケートでは安全・安心や利便性向上に対する意見をいただき、学識経験者、地元住民などで組織する検討会議で現況分析や課題抽出、整備方針等を検討した。

今後はA案を基本に関係機関との具対的な協議やコスト縮減など検討を進め、大磯らしい駅前広場の早期実現に取り組み。

**大磯港みなとオアシス**  
**問** 賑わい交流施設の建設費用が過大とならないよう望む。

**答** 2020年の供用開始に向け、指定管理者を指定、整備に向けた実施設計に着手した。経費を精査し進める。

**町ホームページ**  
**問** 見にくく、見たいものが探しづらいが。

**答** 平成25年度から「見やすく」「使いやすい」「分りやすく」をコンセプトに職員が自

ら更新作業を行っている。今後も最新情報の迅速な提供、見やすいホームページづくりを努める。

**下水道整備**  
**問** 市街化調整区域への公共下水道の整備は。

**答** 国の基準に準じ、経済性などから市街化調整区域の一部も計画区域としている。

### 議会報告会を見送りします

大磯町議会議長 関 威國

議会報告会は、平成22年5月に初めて開催して以来、平成30年5月まで、9年間で30回開催いたしました。この間においては、町議会で行われた予算と決算を中心に報告を行うとともに、町民の皆様と様々な意見交換をいたしました。

議会では、これまでの報告会での課題や問題点を整理し、今後の報告会のあり方を検討すべく、調査・研究するために11月に開催していた議会報告会は見送ることといたしました。

議会報告会を再開するときには、議会だよりなどで皆様にお知らせいたします。

## 岩手県紫波町

# 「オガールプロジェクト」公民連携のまちづくり

## 総務建設常任委員会

オガールとは、「成長」を意味する紫波の方言とフランス語の「駅」との造語です。公民連携という手法を用い、公共施設整備と地域再生を推進した岩手県紫波町のオガールプロジェクトと、紫波町議会の議会対応について、本町の「まちづくり」の参考にするため、視察を行いました。

紫波町は岩手県のほぼ中央部にあり、人口は3万2千人と本町とほぼ同じだが、面積は240平方kmと10倍以上である。開発をする予算が確保できず、塩漬け状態の紫波中央駅前の町有地10・7haにPPPといわれる公民連携の手法で、町の財政負担を最小限にしながら、役場庁舎の移転や新

図書館の建設に取り組んだもので、更地だった町有地に広場と大型の施設3棟も建ち並ぶ。町が出資し設立されたオガール紫波（株）が運営を担い、平成28年には96万人が訪問するようなエリアにまで発展した。

### 視察を終えて

役場庁舎や町の中心部の移転は、多くの意見があったと思うが、塩漬けだった町有地からこのプロジェクトを推進させた当時の町長、それを支えたスタッフ、議会でも特別委員会等で調査研究を行い成し遂げた結果であると感じた。人口3万人余りの小さな自治体でも、民間と協業することで大型プロジェクトを推進できることを感じた。

## 秋田県由利本荘市

# 「英語教育プロジェクト」「学校給食の取り組み」

## 福祉文教常任委員会

2020年の新学習指導要領への移行にあたり、平成26年度に文科省より「英語教育強化拠点事業」の指定を受けた秋田県由利本荘市由利小学校の英語教育を視察しました。また、少子化を見据え小中学校の給食を自校方式から給食センターに移行する学校給食の取り組みについて視察しました。

由利小学校では、国際化時代を意識し、進んでコミュニケーションがとれる人材を育成するため、小・中・高一貫した英語教育課程を研究している。3・4年生は年35時間、5・6年生は年70時間の授業時間確保のため、週2回、朝の時間を活用している。オールイングリッシュの授業では身近な

日常会話ができるよう教師が教材を工夫しているほか、校内には外国語の挨拶や英単語が貼られ、自然と外国語に触れる環境が整っていた。給食のセンター方式決定では、30分以内に運搬可能な8校を対象に保護者との対話を重視した。

### 視察を終えて

大磯町でも新学習指導要領の本格実施に向け、授業時間数の確保や英語を教える教員の確保などの課題がある中、授業時間数を増やす工夫や教員の熱心な取り組みは非常に参考になった。給食については、センター方式決定に至るまでの検討委員会の熱心な議論や保護者への丁寧な説明など今後の参考にしたい。



地元の木材を利用した新庁舎



オールイングリッシュの授業

決算審査

議案審議

補正予算

審議結果・陳情

一般質問

議会活動

輝く笑顔

10月14日、大磯チャレンジフェスタが秋空の中、大磯運動公園で開催されました。今回の表紙は、チャレンジフェスタでの「おいそ骨太体操」のひとつコマ。  
今年、8月29日に町と包括的な連携に関する協定を締結した産業能率大学からも多くの学生が参加されました。開会後、朝一番に行われた「おいそ骨太体操」では、参加者全員でリズムに合わせて体操を行い、学生をはじめ皆さんの笑顔が輝いていました。

議会スナップ



10月19日 明治記念大磯邸園事前見学会

玉虫志保議員が、10月31日付けで、議員を辞職しました。

議会の日々

- 6月
  - 21日 議会だより編集委員会
  - 26日 総務建設常任委員会行政視察（27日）
  - 29日 議会だより編集委員会
- 7月
  - 2日 福祉文教常任委員会行政視察（3日）
  - 11日 議会だより編集委員会
  - 13日 議会運営委員会／議員全員協議会
  - 17日 総務建設常任委員会協議会
  - 31日 福祉文教常任委員会
- 8月
  - 7日 総務建設常任委員会
  - 20日 議会運営委員会／議員全員協議会
  - 27日 議会運営委員会／議会だより編集委員会
- 9月
  - 3日 9月定例会（議案審議等）
  - 5日 議会だより編集委員会
  - 6日 総務建設常任委員会／議会運営委員会
  - 11日 9月定例会（総括質疑）
  - 13日 9月定例会（一般質問）
  - 14日 9月定例会（一般質問）
  - 18日 決算特別委員会（全会計説明）
  - 20日 決算特別委員会（総務関係）
  - 21日 決算特別委員会（建設関係）
  - 25日 決算特別委員会（福祉関係）
  - 26日 決算特別委員会（文教関係）
  - 28日 議員全員協議会
- 10月
  - 3日 9月定例会（委員長報告等）

12月定例会

- 12月18日（火） 議案上程等
- 20日（木） 一般質問
- 21日（金） 一般質問
- 27日（木） 委員長報告等

湘南ケーブルテレビ  
地上デジタルSCN101  
チャンネルにて放映  
生放送9時～、  
再放送は19時～

【編集後記】

日に日に秋も深まってきましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。  
9月定例会が10月3日まで行われたため、例年より遅い発行となりました。今年最後の議会だよりをお届けします。  
今号は、決算審査、東海大学に対する「訴えの提起」などを中心に編集しました。分かりやすくお伝えできましたでしょうか。感想などお寄せいただけると幸いです。  
自然災害が多い年でした。来年は良い年になるよう願っています。

【発行責任者】

議長 関 威國

【議会だより編集委員会】

委員長 渡辺 順子

委員 清田 文雄

高橋 英俊

奥津 勝子

二宮加寿子

玉虫志保実

【オブザーバー】

副議長 竹内恵美子

議会だより第194号の表紙を飾りませんか  
テーマ：「笑顔」

応募期間：平成30年12月27日まで受付  
※応募上の注意や応募方法は、議会だより第192号または大磯町議会ホームページでご確認ください。問い合わせ：大磯町議会事務局